

## 令和2年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

川崎 祥司 議員

◇行政業務に対するICT活用推進 一県立図書館一

(1) 県立図書館における電子書籍の導入について伺いたい。

(教育長答弁)

公共図書館における電子書籍の導入については、感染症防止対策や広域的支援等の観点から、全国的に増加傾向にあります。また、障害者や高齢者等が利用しやすい機能も備えていることから、県教育委員会としても、電子書籍の有用性について認識しており、新県立図書館整備基本計画にも、新たなサービスとして電子書籍の提供を盛り込んでいるところです。

他方、一般向け電子書籍や紙媒体の図書と比べ高価なことや、コンテンツ数が少ない等の課題もあります。そのため、図書館向け電子書籍提供サービスの動向を注視しつつ、県立図書館への導入方法や導入時期について研究したいと考えております。

(2) 蔵書の陳列場所にピンポイントで辿り着くことができない。設置型の端末の接触を回避するため、スマートフォンで検索できるシステムの導入について伺いたい。

(教育長答弁)

ミライオン図書館では、閲覧室の図書を全国標準の図書分類法に従い、配置しているところです。利用者から、本の配置場所についてお尋ねがあれば、職員が案内するほか、館内に本の配置図を掲示するなどの対応を行っております。

加えて、目的の本をより簡単に探すことができるよう、館内に設置しているモニターに配置場所を示すソフトの開発を、現在、諫早商業高校の生徒の協力を得ながら進めているところです。

御提案のスマートフォンによる検索についても、利便性向上などの効果が期待できると思いますが、技術面やコスト面において可能かどうか、関係者と検討したいと考えております。